

和漢薬製剤開発研究部門

Kampo-pharmaceutics

客員准教授 紺野 勝弘 Katsuhiko Konno
助 教 数馬 恒平 Kohei Kazuma
非常勤講師 佐竹 元吉 Motoyoshi Satake

◆ 著 書

- 1) 佐竹元吉監修, バット・トーマス著, 中小路佳代子, 小野寺春香訳: 身の回りの有害物質徹底ガイド. 武田ランダムハウスジャパン, 2010.

◆ 原 著

- 1) Pico G, Hisada M., Sciani J. M., Conceição I. M., Machado M., Oliveira V., de Melo R. L., Cury Y., Konno K., Hayashi M. A. F.: Bradykinin-related peptides from the venom of the solitary wasp *Cyphononyx fulvognathus*. *Biochem. Pharmacol.*, 79: 478-486, 2010.
- 2) Schiavon E., Stevens M., Zaharenko A. J., Konno K., Tytgat J., Wanke E.: Voltage-gated sodium channels isoform-specific effects of pompilidotoxins. *FEBS J.*, 277: 918-930, 2010.
- 3) Asahina H., Shinozaki J., Masuda K., Morimitsu Y., Satake M.: Identification of medicinal *Dendrobium* species by phylogenetic analyses using *matK* and *rbcL* sequences. *J. Nat. Med.*, 64: 133-138, 2010.
- 4) Fuchino H., Kawano M., Mori-Yasumoto K., Sekita S., Satake M., Ishikawa T., Kikuchi F., Kawahara N.: *In Vitro* leishmanicidal activity of benzophenanthridine alkaloids from *Bocconia pearcei* and related compounds. *Chem. Pharm. Bull.*, 58: 1047-1050, 2010.

◆ 総 説

- 1) 紺野勝弘: 南米産ガラガラヘビ毒より得られた強力な鎮痛ペプチド. *化学と生物*, 48: 2-4, 2010.
- 2) 数馬恒平, 紺野勝弘: 地竜とミミズの分類. *月刊和漢薬*, No. 681: 3-4, 2010.
- 3) 紺野勝弘, 佐竹元吉: アジサイによる中毒と原因毒. *食品衛生学雑誌*, 51 (1): J-6-9, 2010.
- 4) 紺野勝弘: 毒を持つ動物とその毒素. *漢方薬・生薬認定薬剤師テキスト*, 第3版 (3): 105-124, 2010.
- 5) 佐竹元吉: インドシナ半島のケシ代替植物プロジェクト. *ファルマシア*, 46 (9): 845-850, 2010.

◆ 学会報告

- 1) 紺野勝弘, 数馬恒平, 佐竹元吉, 村上貴宣, 橋本 勝, Zaharenko A., Ferreira W., Freitas J., Pico G., Cury Y.: 南米産イソギンチャク *Bunodosoma cangicum* より得られた新規アシルアミノ酸 Bunodosine 391 の構造と生物活性. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 2) 朝比奈はるか, 篠崎純一, 増田和夫, 森光康二郎, 佐竹元吉: 漢方生薬セッコクの基源植物に関する科学的研究 (1) *matK* および *rbcL* 配列を用いた *Dendrobium* 属植物 (石斛) の系統樹解析. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 3) 朝比奈はるか, 森光康二郎, 佐竹元吉, 代田 修, 関田節子: 漢方生薬セッコクの基源植物に関する科学的研究 (2) ケモタキノミー的手法による類縁関係解明の検討. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 4) 瀧野裕之, 川原信夫, 安元加奈未, 関田節子, 佐竹元吉: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索 (その19) —ペルー生薬 *Barbasco* 枝の成分について—. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 5) 安元 (森) 加奈未, 瀧野裕之, 我妻 豊, 佐竹元吉, 関田節子: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索 (その20) —ミャンマー産植物 *Kyun Tectona grandis* Linn. f. の成分について—. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 6) 安元 (森) 加奈未, 瀧野裕之, 我妻 豊, 佐竹元吉, 関田節子: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索 (その21) —ミャンマー産植物 *Kyun Tectona grandis* Linn. f. の成分について—. 日本薬学会第130年会, 2010, 3, 29, 岡山.
- 7) 佐久間克也, 作田圭亮, 佐竹元吉: 四物湯を起源としたエキス剤の血流増加作用に関する研究 (4) 血流量の増加を

抑制する四物湯去熟地黄. 日本薬学会第 130 年会, 2010, 3, 29, 岡山.

- 8) 紺野勝弘: 単独性カリバチ毒のペプチド毒素. 第 57 回毒素シンポジウム, 2010, 7, 14, 長浜.
- 9) 朝比奈はるか, 佐竹元吉, 森光康二郎, 関田節子, Li Heng, Yang Chong-Ren, Zhang Ying-Jun, Wang Dong: 漢方生薬セッコク(石斛)の基源植物に関する科学的研究-基源種および修治と流通の現状-. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 25, 徳島.
- 10) 数馬恒平, 紺野勝弘, 佐竹元吉: ミャンマー生薬局方作成支援の現状. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 25, 徳島.
- 11) 菊池博之, 淵野裕之, 杉村康司, 飯田 修, 川原信夫, 渡邊高志, 岡田 稔, 小山鐵夫, 佐竹 元吉, 安元加奈未, 関田節子: 抗リーシュマニア活性を有する薬用植物の探索(その 21) —ペルー産, ソロモン諸島産植物の活性評価, 及び *Muticia acuminata* の活性成分について—. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 12) 宮永 賢, 数馬恒平, 紺野勝弘, 佐竹元吉: アジサイ属植物由来食中毒成分の検討. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 13) 磯部優佳, 宮永 賢, 数馬恒平, 紺野勝弘, 佐竹元吉: オオミサンザシの成分解析とそのサンザシエキス確認試験への応用. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 14) 紺野勝弘, 数馬恒平, 安藤賢司, 佐竹元吉, 安元加奈未, 関田節子, 二瓶賢一, 加藤 学, Marisa Rangel, Marcia Cabrera: 単独性カリバチ毒から得られた新規抗菌性ペプチドの構造と生物活性. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 15) 安藤賢司, 宮永 賢, 数馬恒平, 紺野勝弘, 佐竹元吉: キムネクマバチのペプチド性毒成分 xylocopin の構造決定. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 16) 佐竹元吉: 薬学での漢方薬講義のあり方. 日本生薬学会第 57 回年会, 2010, 9, 26, 徳島.
- 17) 淵野裕之, 川原信夫, 河野真理衣, 石川 勉, 小林正規, 竹内 勤, 佐竹元吉, 安元加奈未, 黒柳正典, 関田節子, Fernando Cabieses molina, Zuño Burstein Alva: 薬用植物における抗リーシュマニア活性化化合物の探索研究. 第 52 回天然物有機化合物討論会, 2010, 10, 1, 静岡.

◆ その他

- 1) 紺野勝弘: ヘビ毒変じて薬となす—ブラジル産ガラガラヘビからモルヒネより強力な痛み止めを開発する物語—. イブニング技術交流サロン, 2010, 2, 5, 富山.
- 2) 紺野勝弘: ミャンマーのハチとその毒成分. 第9回お茶の水女子大学ミャンマーフォーラム, 2010, 3, 11, 東京.
- 3) 数馬恒平: Chemistry and biochemistry of flavonoids, and its application to biotechnology, University of Macau, 2010, 4, 22, Macau, China.
- 4) 佐竹元吉: 最近の漢方薬の話題. 富山薬草同好会講演会, 2010, 5, 20, 富山.
- 5) 数馬恒平: フラボノイド生合成研究とその農学及び薬学への応用. 第15回富山大和漢研夏期セミナー, 2010, 8, 23, 富山.
- 6) 紺野勝弘: 動物由来の和漢薬. 富山市民大学, 2010, 10, 22, 富山.
- 7) 佐竹元吉: Cultivation and conservation of medicinal plants in Asean countries and Japan. International Symposium on Standardization of Traditional Medicine, 2010, 11, 18, 富山.